

南陽市立小中学校適正規模・適正配置の基本方針

南陽市立小中学校の教育環境を整備し、教育効果を高めるため、下記のとおり南陽市立小中学校の適正規模・適正配置の基本方針を定める。

記

1 小中学校の適正規模・適正配置に関する計画策定に係る基本的な方針

南陽市の子どもたちにとってよりよい学習環境を整え、教育効果を向上させる観点から、小中学校は、それぞれ以下の学級数を確保するよう努める。

- (1) 中学校は、1 学年 3 学級以上、全体で 9 学級以上とする。
- (2) 小学校は、1 学年 2 学級以上、全体で 12 学級以上とする。

2 計画策定に係る具体的方策について

南陽市小・中学校の再編統合を進める。

- (1) 中学校については、「市内 1 校」を基本として検討する。その際、生徒数の著しい減少に伴う課題が顕在化している現状を踏まえ、スピード感をもって対応する。
- (2) 小学校については、上記の規模を確保できるよう、保護者や地域の意見を聞きながら、段階的に統合を検討する。その際、多様な学校の在り方について研究し、計画に反映させる。

令和 7 年 1 月 23 日

南陽市教育委員会